



さかそう通信

Sakaso

執筆・印刷
 上甲 誠 (じょうこうまこと)
 無所属 (1973年阪南市生まれ)
 市政相談所：〒599-0224 阪南市舞 4-30-2
 電話 072-474-9211 メール m.j@mac-joe.net
 ブログ http://mac-joe.net/

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。市政報告書「さかそう通信」第43号をお届けいたします。さて、今回は先月予告させていただいた通り、今一致団結して進めています議会改革について詳しくお伝えいたします。裏面ではこの6月議会で私が一般質問させていただいた「市民協働」についてご報告いたします。

進む！阪南市議会

一致団結して改革を！

阪南市議会では令和2年7月に初の「議会改革検討会」が議長の諮問機関として設置され、14名の議員のうち、各党派（公明党、清秀会、大阪維新の会、市民倶楽部、日本共産党、無党派の会）代表1人の計6名で多くの議論を重ねてきました。

「検討会」としてはこれまでに9回開催され、内容はホームページで公開しています。

また、検討会とは別で、議会基本条例だけに特化した「作業部会」として、同じメンバーで計10回の会

議を重ねています。



議会基本条例とは、議会運営に大切なこと、基本的なことを定めた条例で、全国約50%の自治体で制定されています。昨年の議長の諮問により、阪南市議会で

も議会改革を推進するため議題に上がり、これまで検討を重ねてきました。条例(案)は、9月予定の阪南市議会議員選挙にて新しい議員が決まった後制定する運びになりますが、現在の14名でしっかりと議論し、磨き上げてバトンタッチします。



議会改革の方向性は

(1) 議員報酬について

現在、阪南市議会では議員報酬を今任期満了まで5%カットしています。

今後の議員報酬については、議会改革推進検討会にて「議員報酬については市民の客観的な意見が必要であり、阪南市特別職給料等審議会の開催が必要である。今後の改定については、それら客観的な意見も充分に考慮するものとする。」という内容で議長に答申を返しています。

(2) 議員定数について

議員定数については、4年前の選挙の際に定数を2人減らし、現在の14人になりました。今作業部会でも議論が行われ、定数は市政の現状と課題、将来

の予測と展望を十分に考慮するものとする、という方向性で全員の意見がまとまっています。

目先のことに囚われず、子ども達の明るい未来のために判断していきたいと思えます。

(3) これからの議会

作業部会の内容についてですが、書ききれないぐらい多くの熱い議論、合意形成がなされました。どんな意見が出ていたかというと、

- ・市民に親しまれる議会にしよう。
- ・クリーンでオープンな議会にしよう。
- ・傍聴したくなる議会にしよう。



- ・里海里山、自然との共生、歴史と文化を重んじよう。
- ・子ども達に興味を持ってもらおう。

などなど、とても前向きな議論でした。

これからも「議会改革」できるところから一つ一つ、議会一丸となって取り組んでいきます。

上甲誠ブログ 人こそ街な



ほぼ毎日更新中！

<http://mac-joe.net/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載！！

上甲誠市政報告座談会 さかそう会

【毎月】開催しています。

7月17日(土) 10時
あたごプラザ「もも」

8月7日(土) 10時
箱作西住民センター

コロナ緊急事態が発出されて
いる場合は中止します。

市政相談・お問い合わせ

お気軽に

上甲誠市政相談所



お待ちしております！

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mj@mac-joe.net

6月議会的一般質問

市民協働について

6月7日からの6月議会、今回の私のテーマは「阪南市の市民協働について」です。

※市民協働：地域住民の組織、NPO、企業などさまざまな活動主体と行政とが協働し、地域課題の解決に取り組んでいくこと

現在阪南市には財政非常事態宣言が発出され、行財政構造改革プランが推進されており、市民の間には「阪南市は財政が厳しいので何を行ってもダメだ」という声も聞こえます。

こんな時だからこそ、市役所は市民に寄り添い、丁寧な説明をし、市民協働を進め、「市民の納得」を得ながら改革を進めなければなりません。納得不十分で拙速に進めることがどうなるか、われわれは過去に大きな反省をしたはずですが。

阪南市の市民協働

うまく進んでる？

現在阪南市では「はなていアクション」「市民協働事業提案制度」「はんなん共創事業プランコンペ」という3つの市民協働事業が進んでいます。

《質問》市民協働うまく進んでいるのか？
《市長》なかなか一朝一夕にうまくいかな

いが、確実に住民自治をめざしているまちづくりの成果は上がっている。

《質問》住民自治は難しい。どう進めるか。

《市長》圏域ごとの自治をつくる。住民活動を支え、行政専門職としてのサポートをしていく。

地域まちづくり協議会

どうつくっていくのか？

これは何度となく質問もしてきており、市長は「これまで以上に地域に職員がしっかりと入れられるような仕組みを作る」と答弁しています。それを踏まえて今後どうするかをお聞きしました。

《質問》まちづくり協議会はどのように入っているのか？



《市長》現状では地域まちづくり協議会という形ではなくても様々な地縁型活動の成果を上げているところがある。そのためには職員が地域のニーズを把握することが必要。しかし現在はコロナ禍で思ったようには進んでいない。

市民に寄り添い、説明し、

非常事態の出口を示す

財政非常事態宣言などを踏まえ、市民は阪南市の人口減少、高齢化、財政の厳しさなど、充分に理解いただいていることと思います。

たとえば「今は厳しいのでこの事業を廃止の方向で進めますが、代わりにこう工夫します」とか「今は縮小しますが、財政再建を達成した時には、こういう事業を考えています」というような前向きで、夢のあるビジョンが必要です。

《質問》非常事態の出口を示しビジョンを示してほしいが、いかがか。

《市長》財政再建に取り組みながら、このまちを魅力あるものにしていく。そのような情報発信に力を入れていく。

私もかねてから申し上げていますが「市民協働」は市の行う事業の中でも最も難しく、最も大切なものです。

私もいち議員として、これからも精力的に市民に寄り添い取り組んでいきます。

最後までお付き合いいただきましてありがとうございます。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて、今後ともよろしく願います。

阪南市議会議員 上甲 誠